

保護者様

和みの学び舎
世田谷区立奥沢中学校
校長 高林 敏彦

令和6年度の改善結果および令和7年度に向けた改善方策について

春色の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

さて、令和6年度奥沢中学校学校関係者評価の結果及びその分析について、学校関係者評価委員会より報告を受け、その課題に対する学校としての改善策について、下記の通りに報告いたします。

なお、学校関係者評価委員会よりの報告、各項目の評価結果につきましても本校ホームページ上に掲載しますのでご覧ください。

記

1 令和5年度改善方策を受けた改善結果について

学校関係者評価委員会から報告を受けた改善方策として以下のこと実施いたしました。

① 生徒が相談しやすい環境づくり

改善方策：全校生徒を対象として、教員やSCなど、生徒が希望する大人と一対一で話をする機会を設けることにより、生徒が相談できる大人を増やす。また、校内において特別支援教育の研修を進め、支援の必要な生徒との関わり方を学ぶことにより、生徒との良好な人間関係作りにつなげる。

結果： 生徒アンケート「先生たちは、生徒が相談しやすい」68票→68票

分析： 1年生64.0票、2年生74.0票、3年生66.6票となっており、学年によって生徒の「相談しやすさ」に差がある。ただ、本校は多くの教員が他学年の生徒と関わる機会も多いため、今年度の取組みを継続していくことで、「相談しやすい」と感じる生徒を増やしていきたい。

② 保護者・地域への情報発信

改善方策：HPや学校・学年だよりで、進路や将来の仕事等、キャリア教育についての情報発信を増やす。

各教科のゲストティーチャーの取組みについて、HPや学校だより、学年だよりで発信する。

「すぐーる」を利用して保護者に向けて直接案内する。また、可能なものについては学校公開の時期と合わせ、保護者や地域の参観ができるようにする。

結果： 保護者アンケート「子どもの進路や将来のことについて考える授業がある」67票→68票

分析： 保護者アンケート結果は昨年度とほぼ同様の結果となった。生徒アンケートでは1年生49.3票、2年生82.0票、3年生83.3票となっており、学年による差が大きくなっている。ただ、1年生については職業講話等のキャリアについて考える授業が3学期に予定されており、未実施であったことがアンケートの結果に影響していると考えられる。

2 令和7年度に向けた改善方策について

学校関係者評価委員会から、以下のような報告をいただきました。（各項目の考察及び総合所見より）

回収率が保護者 37.3%とかなり低い数値で気になる。回収方法に問題があるのか、保護者のアンケートへの関心度が低いのか、アンケート方法に工夫が必要なのか検証した方がよい。業者経由(区アンケート)は回収への問いかけがしにくい点や質問数が多いのも原因にあげられるかもしれない。また、保護者の回答に「E：分からない」の割合が増加している点が気になる。それに反して親の行事への参観は例年通りで、学校行事に関しての回答は例年通りで評価も高い。

先生方の学習指導、生活指導、学校行事についてほぼ 80%～90%台と高い水準であることは例年通りであり、特に学校行事には大変高い評価を得ている。「評価」に関して肯定が少ないのは 3 年生の肯定的回答が下がっているため、1・2 年ではその傾向はない。

「先生たちは、相談しやすい」に関しては、昨年度も課題となっていた。先生方は 100%生徒の意欲を大切に指導している結果、生徒は学校生活を良好に過ごし、ほぼ 80%が達成感をえている。先生方は相談しやすい環境を考えているが、保護者はその様に考えている割合が、前年度より低くなっている。学校内で生徒の性格などを考慮した相談方法や、保護者も相談できる時間をつくっていただく必要があるのか。先生方の忙しい中での工夫がどうなっているか実状を知りたい。

奥沢中学校は少人数の学校であり、教員数も限られている中で教育活動、学校行事、クラブ活動など生徒・保護者・地域の方々からアンケートを通して、肯定的に捉えられている。働き方改革の中、クラブ活動が達成感につながっている点も素晴らしい。これも先生方の日頃のご指導の成果である。アンケート結果を通して奥沢中学校の伝統を維持されてきていると感じる。生徒や保護者も時代とともに変わって行く。また校舎改築工事も行われ、その間様々な点で学校生活に支障があると思われる。今後改善していくべきこともあると思われるが、生徒たちのために努力されることを望みたい。

以上の報告を受け、改善方策として次の2点を来年度の教育計画に組み込み、教育活動の充実に努めてまいります。

【アンケートを工夫し保護者・地域のご意見をより多く教育活動に生かす】

改善策：来年度から、学校関係者評価アンケートの項目を学校ごとに設けることになる。共通項目・独自項目を合わせた質問項目が非常に多かったことも、アンケートへのご回答が少ない一つの要因と考えられるため、質問項目を奥沢中の教育活動についてのものに厳選した上で実施する。

さらに、アンケートの全体が見て分かるよう工夫し、保護者の皆様が回答しやすい環境を整えることにより、多くのご意見をいただき、奥沢中学校の教育活動の工夫改善につなげていく。

また、生徒アンケートについても、実施時に質問項目について説明を加え、内容を理解した上で回答できるようにすることで、より実態を踏まえた回答となり、改善につなげられると考える。

【改築工事の中で生徒の安全・安心を大切にしたい教育活動を行う】

改善策：教職員が全校体制で生徒を見守り、生徒の主体性を尊重する教育活動を続けていく。担任以外の教員や養護教諭、カウンセラー、さらに来年度から新たに配置される「不登校巡回担当教員」等、多くの大人が支援していることを繰り返し伝えていく。教職員の研修を進め、生徒との良好な人間関係を築いていくことで、生徒たちが安心して学校生活を送ることができるようにする。

また、改築工事期間の中でも、日々の教育活動を丁寧に実施することで、生徒の教育活動を安全に進めていく。